

気候変動に私たちは どのように向き合っていくのか

～ 気候変動への適応に向けて～

IPCC（気候変動に関する政府間パネル）第5次報告書では、地球温暖化の緩和が急務とされる一方、最も厳しい温暖化の緩和努力をしても、気候変動への影響を避けることができないと指摘されています。

今後、地球温暖化対策は温室効果ガスの排出抑制と吸収源の拡大（緩和策）だけでなく、気候変動の影響に備えること（適応策）も併せて推進していくことが非常に重要です。

そこで、関東地方環境事務所では、地球温暖化防止活動を実践されている方、地球温暖化対策につながる事業を推進している方だけでなく、ひろく一般市民を対象に、気候変動への適応の重要性にスポットをあてたセミナーを開催します。

日時 平成28年 **3月16日** (水) 13:30～16:45

会場 明治安田生命さいたま新都心ビル ランドアクシスタワー22階大会議室

基調
講演

「気候変動時代の 暮らしと適応」



田中 充氏 法政大学社会学部 教授

【プロフィール】

東京大学理学部卒業、同大学院理学系研究科修了、理学修士。1978年4月に川崎市入所、公書局、環境局等の勤務を経て、2001年4月から法政大学社会学部教授として着任。2014年4月より社会学部長、現在に至る。政府の中央環境審議会、東京都、埼玉県、神奈川県等の自治体の審議会委員を務める。2010年より2014年まで環境省環境研究総合推進費「S-8 温暖化影響評価・適応施策に関する総合的研究」の地域班の課題代表者等。最近の著書に「地球からの低炭素・エネルギー政策の実践」（ぎょうせい、2014）、「気候変動に適応する社会」（技法堂、2013）、「環境条例の制度と運用」（信山社、2015）など。

プログラム	
13:30～	開会・セミナー趣旨説明
13:40～	「関東の気候変動とその予測」 戸川 裕樹氏 東京管区気象台
14:10～	「気候変動時代の暮らしと適応」 田中 充氏 法政大学社会学部教授
15:10～	質疑応答
15:20～	休憩
15:30～	「気候変動適応策に関する最近の動向について」 環境省地球環境局研究調査室
16:00～	「埼玉県における温暖化影響と適応策への取組」 嶋田 知英氏 埼玉県環境科学国際センター
16:30～	質疑応答・閉会

関東気候変動適応策セミナー

「気候変動に私たちはどのように向き合っていくのか」

参加お申込み方法（事前登録制）

件名「関東気候変動適応策セミナー参加申込み」とし、本文に①氏名(ふりがな)、②連絡先(電話番号)を明記の上、下記宛先までメール又はFAXにてご連絡ください。

メール：KANTAI03-KANTO@env.go.jp

FAX：048-600-0517

*お申込みをいただいた方には、登録票をメール又はFAXにて返信します。

セミナー当日は、受付にてお名前と登録票に記載の受付番号をご提示ください。

なお、個人情報とは本セミナーでの開催目的以外に使用することはありません。

会場案内

明治安田生命さいたま新都心ビル
ランドアクシスタワー（LAタワー）
22階 大会議室
（埼玉県さいたま市中央区新都心11-2）

- さいたま新都心駅西口より徒歩1分
- 北与野駅より徒歩5分

お申込み・お問い合わせ先

関東地方環境事務所 環境対策課
温暖化対策担当 長井
TEL 048-600-0815

